

## 競技・審判上の注意

1. 本大会は2023年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定並びに公認審判員規定により行います。
2. タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は「流し込み」とします。アナウンスがあり次第、選手は体育館内の選手集合所にお集まりください。なお試合の進行状況により、コート変更をする場合がありますのでアナウンスには十分注意してください。
3. すべてのゲーム中に、一方の選手のスコアが11点に達した時に、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間では、120秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「（コート番号）20秒」とコールしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、アドバイスなどでコートに入れるのは同時に2名までですが、主審の「（コート番号）20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れて下さい。
4. 選手はマッチ中、所定のインターバル以外に、インプレーでないときに限り、アドバイスを受けられますが、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
5. 競技フロア内での携帯電話などの使用は一切認めません。またモバイル機器（携帯電話 iPad など）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁じます。
6. コーチ席での服装等は、公認審判員規定第5条第12項（8）に準じ、「チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする」、ただしハーフパンツや7分丈は公認であっても禁止とします。競技フロアでは必ず体育館シューズを履いて下さい。
7. 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管してください。なお状況により、コーチ席に人が着くことができない場合には主審に申し出て下さい。
8. マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入れるのは、レフェリーが必要と認めたチーム関係者に限ります。
9. 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該選手に限り、主審に質問ができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
10. 観覧席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナー7に反する行為を禁止します。
11. 2階観覧席の最前列は応援席としますので、荷物は置かないようにお願いします。